

第3回半田市議会定例会総務委員会委員長報告書

当総務委員会に付託された案件については、6月23日、午前9時30分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

議案第44号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

地域防災組織育成事業助成金について、
協和区自主防災会の事業が採択されたとのことであるが、市内の他の地区の申請はあったのか。と対し、

助成金の申請については、半田市内の全自治区に照会しておりますが、平成26年度に申請いただいたのは協和区の自主防災会のみでした。また、愛知県内で15の自治区から申請があり、半田市の協和区を含め6つの自治区の申請が採択されました。とのこと。

自治総合センターコミュニティ助成金について、
他の区の施設等でも古い備品はあると思うが、今回はなぜ岩滑コミュニティセンターだけの申請であったのか。

また、県への申請については、半田市で精査した上で行っているのか。と対し、

毎年、全自治区に照会を行っておりますが、平成26年度については、岩滑区以外からは申請がなされなかったため、一地区のみの申請となっております。

また、県への申請については、岩滑区から申請の申し出を受けた時点で、必要な机や椅子等の数量を確認したうえで、申請を行っております。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第46号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

税制改正によって、半田市は減収になっているのか。とに対し、

半田市においては、試算では法人市民税が2億7千4百万円ほどの減収になりますが、交付税については1億7千6百万円ほど増収となり、差し引くと9千8百万円ほどの減収になります。しかし、消費税の増税に伴い、地方消費税が1%から1.7%に引き上げられ、地方消費税交付金につきましては2億3千万円ほど増加する試算となり、市全体としては増収になると考えております。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成委員多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第54号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

半田市には、市内に本店を持つ信用金庫が2つあるが、なぜ知多信用金庫を選定したのか。とに対し、

経営規模や地域貢献の観点、また市内に本店を始め11店舗があることから、知多信用金庫を選定しました。とのこと。

指定金融機関の変更により、支払手数料などの額等は今後維持されていくのか。とに対し、

当面5年間は、縮減する派出所職員の人件費、現口座振替手数料は維持する方向で調整を進めております。とのこと。

今現在、指定金融機関となっている三菱東京UFJ銀行については、今後どのようになるのか。とに対し、

今後は、指定代理金融機関としてをお願いをしていく予定です。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第54号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決

定しました。

以上、ご報告申し上げます。